

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学病院における小児包茎手術症例の検討	
1. 研究の対象および研究対象期間	2000年4月1日から2023年12月31日までに、包茎の診断で、昭和大学病院で手術を行った0~15歳までの患者さん。
2. 研究目的・方法	包茎とは包皮口が狭いために亀頭を露出できない状態をいいます。この状態は乳幼児期の繊細な外尿道口を保護する機能を果たしています。成長とともに包皮口は開大し、亀頭の露出が可能となり、95%以上の男児では思春期までに亀頭の露出が可能となるとされています。この生理的な包茎のなかには、包茎に起因した疾患や合併症があり、手術が必要となることがあります。また、乳幼児期に過度な包皮翻転を指導され手技を行うことで、包皮口の瘢痕化をきたし手術が必要になってしまう症例も存在すると言われています。これまでに経験した患者さんの情報をもとに、乳幼児期のより良い包皮ケアの方法を作成します。
3. 研究期間	昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年12月31日まで。
4. 研究に用いる試料・情報の種類	受診時年齢、手術時年齢、昭和大学病院受診前までに包茎に対する治療の有無と治療内容、包皮翻転指導の有無、包茎に関連した症状(疼痛、排尿障害、包皮の風船様拡張、亀頭包皮炎、嵌頓包茎)、手術内容、手術に関連した合併症。
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません。
6. 研究組織	研究責任者 研究機関名 昭和大学病院 小児外科 氏名 中山 智理

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 小児外科

氏名：中山 智理

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8789